

# バーモントカップ 第26回 全日本少年フットサル大会北海道予選

## 開催要項

1. 主 旨 日頃の練習成果を競い、より高度なフットサル技術のレベル向上を目指す。また、フットサルを通じて、フットサルの楽しさを味わい、小学生年代の健全な心身の発育・発達を図ることを目的とする。併せてバーモントカップ第 26 回全日本少年フットサル大会北海道予選を実施する。
  2. 名 称 バーモントカップ 第 26 回全日本少年フットサル大会北海道予選
  3. 主 催 公益財団法人北海道サッカー協会、一般社団法人北海道フットサル連盟
  4. 主 管 一般社団法人札幌地区サッカー協会
  5. 後 援 北海道教育委員会、公益財団法人北海道体育協会、札幌市教育委員会、一般財団法人札幌市体育協会
  6. 特別協賛 ハウス食品グループ本社株式会社
  7. 協 力 株式会社モルテン、札幌市サッカースポーツ少年団連盟、特定非営利活動法人札幌フットサル連盟
  8. 期 日 2016 年 7 月 9 日(土)～7 月 10 日(日)
  9. 会 場 北海道立野幌総合運動公園総合体育館メインアリーナ  
江別市西野幌481番地TEL:011-384-2166
  10. 参加資格 (1) フットサルチームの場合
    - ① 公益財団法人日本サッカー協会に「フットサル 4 種」の種別で加盟登録した単独のチームであること。一つの加盟登録チームから、複数のチームで参加できる。
    - ② 前項のチームに所属する 2004 年 4 月 2 日以降に生まれた選手であること。男女の性別は問わない。
    - ③ 外国籍選手は 1 チームあたり 3 名までとする。(2) サッカーチームの場合
    - ① 公益財団法人日本サッカー協会に「4 種」または「女子」の種別で加盟登録した単独のチームであること。一つの加盟登録チームから、複数のチームで参加できる。
    - ② 前項のチームに所属する 2004 年 4 月 2 日以降に生まれた選手であること。男女の性別は問わない。
    - ③ 外国籍選手は 1 チームあたり 4 名までとする。(3) 本大会の予選(地区・ブロック)を通して、選手は、他のチームで参加していないこと。所属するチームが複数のチームで参加する場合、またはサッカーチームとフットサルチームの両方に所属し、両方のチームが参加する場合を含む。
  - (4) 選手および役員は、本大会において複数のチームで参加できない。
  - (5) 道内 5 ブロック(札幌、道央、道南、道東、道北)の大会を経て、所轄の地区協会が認めたチームであること。
  - (6) 本大会フットサル登録料(2,000 円)を所属地区サッカー協会において納入完了していること。
11. 参加チームとその数 参加チーム数は、次により選出された 16 チームとする。  
各ブロックの出場枠は次のとおりとする。
  - ・札幌ブロック:4 チーム
  - ・道央ブロック(千歳、小樽、空知、北空知):3 チーム
  - ・道南ブロック(函館、室蘭、苫小牧):3 チーム
  - ・道東(十勝、釧路、根室、網走):3 チーム
  - ・道北ブロック(旭川、道北、宗谷):3 チーム。
12. 大会形式 (1) 1 グループ 4 チームとして、4 グループで 1 次ラウンド(総当たり戦)を行う。

- (2) 決勝ラウンドは、1次ラウンド各グループ1・2位の8チームによるノックアウト方式で行う。3位決定戦は行わず、準決勝敗退の両チームを3位とする。
- (3) 決勝ラウンドの組み合わせは抽選とし、初戦では予選の同一グループ以外の1位と2位が対戦するよう配慮する。
- (4) フェニックストーナメントは、予選グループ各3・4位の8チームがトーナメント方式で行う。
- (5) 試合が一方のチームの責に帰すべき事由により開催不能または中止になった場合には、その帰責事由のあるチームは0対5または、その時点のスコアがそれ以上であればそのスコアで敗戦したものとみなす。
- (6) 1次ラウンドにおける順位決定方法は、勝点合計の多いチームを上位とし、順位を決定する。勝点は、勝ち3、引分け1、負け0とする。ただし、勝点合計が同じ場合は、以下の順序により決定する。
  - ① 当該チーム間の対戦成績
  - ② 当該チーム間の得失点差
  - ③ 当該チーム間の総得点数
  - ④ グループ内の総得失点差
  - ⑤ グループ内の総得点数
  - ⑥ 下記に基づくポイント合計がより少ないチーム
 

(ア) 警告1回	1ポイント
(イ) 警告2回による退場1回	3ポイント
(ウ) 退場1回	3ポイント
(エ) 警告1回に続く退場1回	4ポイント
  - ⑦ 抽選

13. 競技規則  
14. 競技会規定

大会実施年度の(公財)日本サッカー協会フットサル競技規則による。  
以下の項目については、本大会で規定する。

- (1) ピッチ
  - ・大きさ: サイズは原則として、32m×16m
  - ・センターサークル: 半径2.5m
  - ・ペナルティーエリア四分円の半径: 5m
  - ・ペナルティーマーク: 5m
  - ・第2ペナルティーマーク: 8m、
  - ・交代ゾーンの長さ: 4m
  - ・タイムキーパーの机の前のエリア: ハーフウェーラインの両端からそれぞれ4m
- (2) 守備側競技者のボール等から離れる距離
  - ・フリーキック: 4m
  - ・コーナーキック: 4m
  - ・キックイン: 4m
- (3) 使用球は、モルテン製ヴァンタッジオ 3000 フットサル(F8V3000)3号ボールとする。
- (4) 競技者の数
  - ・競技者の数: 5名
  - ・交代要員の数: 10名以内
  - ・ピッチ上でプレーできる外国籍選手の数: 2名以内
- (5) ベンチに入ることのできる人数は14名以内(交代要員10名、役員4名以内)とする。
- (6) 競技者の用具
  - ① ユニフォーム
    - (ア) フィールドプレーヤー、ゴールキーパーともに、色彩が異なり判別しやすい正副のユニフォーム(シャツ、ショーツ、ストッキング)を参加申込書に記載し、各試合には正副ともに必ず携帯すること。
    - (イ) チームのユニフォームのうち、シャツの色彩は審判員が通常着用する黒色と明確に判別しうるものであること。

- (ウ) フィールドプレーヤーとして試合に登録された選手がゴールキーパーに代わる場合、その試合でゴールキーパーが着用するシャツと同一の色彩および同一のデザインで、かつ自分自身の背番号のついたものを着用すること。
- (エ) シャツの前面、背面に参加申込書に登録した選手番号を付けること。ショーツにも選手番号を付けることが望ましい。選手番号は服地と明確に区別し得る色彩であり、かつ判別が容易なサイズのものでなければならない。
- (オ) 選手番号については1から99までの整数とし、0は認めない。1番はゴールキーパーが付けることとする。必ず、本大会の参加申込書に記載された選手固有の番号を付けること。
- (カ) ユニフォームへの広告表示については、(公財)日本サッカー協会の承認を受けている場合のみこれを認める。ただし、ユニフォーム広告表示により生じる会場等への広告掲出料等の経費は当該チームにて負担することとする。
- (キ) その他のユニフォームに関する事項については、(公財)日本サッカー協会の「ユニフォーム規程」に則る。

## ② 靴

キャンバス、または柔らかい皮革製で、靴底がゴム、または類似の材質で出来ており、接地面が紺色、白色、もしくは無色透明のフットサルシューズ、トレーニングシューズ、または体育館用シューズタイプのもの。(スパイクシューズおよび靴底が着色されたものは使用できない。)

## ③ ビブス

交代要員は、競技者と異なる色のビブスを用意し、着用しなければならない。

## (7) 試合時間

- ① 1次ラウンド:16分間(前後半各8分間)のプレーイングタイムとし、ハーフタイムのインターバルは3分間(前半終了から後半開始まで)とする。
- ② 決勝ラウンド:20分間(前後半各10分間)のプレーイングタイムとし、ハーフタイムのインターバルは3分間(前半終了から後半開始まで)とする。
- ③ フェニックストーナメントは、20分間(前後半各10分間)のランニングタイムとし、ハーフタイムのインターバルは2分間とする。

## (8) 試合の勝者を決定する方法(競技時間内で勝者が決しない場合)

- ① 1次ラウンドは引分けとする。
- ② 決勝ラウンド及びフェニックストーナメントにおいて勝敗が決定しない時は、PK方式(1チーム3名による3本ずつのキックで行う。決しないときは一方のチームが他方より多く得点をあげるまで行う。
- ③ 決勝戦においては、6分間(前後半各3分間)のプレーイングタイムの延長戦を行い、決定しない場合はPK方式により勝敗を決定する。
- ④ 延長戦に入る前のインターバルは5分間とする。
- ⑤ PK方式に入る前のインターバルは1分間とする。

## (9) タイムアウトは、準決勝戦・決勝戦を除いて適用しない。

## 15. 懲

## 罰

- (1) 本大会の予選(ブロック)は、懲罰規程上の同一競技会とみなし、予選終了時点で未消化の出場停止処分は、本大会の試合にて順次消化する。ただし、警告の累積によるものを除く。
- (2) 本大会において退場を命じられた選手は、自動的に本大会の次の1試合に出場できない。
- (3) 本大会期間中に警告の累積が2回に及んだ選手は、自動的に本大会の次の1試合に出場できない。
- (4) 前項により出場停止処分を受けたとき、1次ラウンド終了時点で警告の累積が1回のとき、または、本大会の終了のときに、警告の累積は消滅する。
- (5) 本大会終了時点で未消化となる出場停止処分は、当該チームが出場する直近のフツ

トサル公式試合にて消化する。(バーモントカップ第 26 回全日本少年フットサル大会出場チームは、この大会で行うこと。)ただし、警告の累積によるものを除く。

(6) その他、本大会の懲罰に関する事項については、本大会の大会規律委員会が決定する。委員長は、主催協会フットサル委員長とする。

16. 参加料等  
17. 参加申込

参加料 21,600 円(消費税込)、審判不帯同料 16,200 円(消費税込)

(1) 参加申込書に記載し得る人員は、選手 20 名・役員 4 名を上限とし、選手は本大会の予選となるブロック大会に登録していること。ただし、3 名を上限に本大会の予選となるブロック大会に登録していない選手を記載できる。その場合、10.参加資格に定める要件を満たしていなければならない。

(2) 参加申込は所定の申込書(Excel)に必要事項を記入し、期日までに所属地区サッカー協会を通じて申し込み先(A)・(B)宛てに E-mail で送付すること。

※チームは事前に所属地区協会の申込みアドレスを確認すること。

(3) 参加料 21,600 円(消費税込)は申込と同時に申込先(B)へ納入すること。

(4) 親権者の承認印のある親権者同意書を(A)に送付すること。なお、2016 年度中に提出済みの場合は不要。

(5) 各チームの出場停止処分未消化選手の有無について、懲罰処分についてのアンケートに記載の上、(B)宛に E-mail で送付すること。

(6) 申込締切日 2016 年 6 月 16 日(木) 17 時まで 厳守

(7) 前項の申込締切日以降の参加申込内容の変更は認めない。

(8) 申込先 (A) (公財)北海道サッカー協会

〒062-0912 札幌市豊平区水車町 5 丁目 5-41

北海道フットボールセンター 内

TEL 011-825-1100 FAX 011-825-1101

・参加申込書(E-mail)

※選手登録番号を必ず記載すること。

・ブロック大会結果(E-mail)

・プライバシーポリシー同意書(E-mail)

・親権者同意書(郵送)

(B) (一社)札幌地区サッカー協会

〒064-0931

札幌市中央区中島公園1-5 札幌市中島体育センター内

TEL 011-531-7553 FAX 011-531-7553

E-mail:taikai-sfa@sfa-rc.net

・参加申込書(E-mail)

※選手登録番号を必ず記載すること。

・ブロック大会結果(E-mail)

・懲罰処分についてのアンケート

・参加料 21,600円(消費税込)

・審判不帯同料 16,200円(消費税込)

・大会参加料及び審判不帯同料振込口座

北洋銀行 東屯田支店 普通 3535541

一般社団法人札幌地区サッカー協会

専務理事 福井 浩史(フクイ ヒロシ)

18. 組合せ

参加申込締切後、(公財)北海道サッカー協会において抽選を行い決定する。なお、組み合わせ結果は下記の公式ホームページにて確認すること。

<http://www.hfa-dream.or.jp/>(大会情報・フットサル)

19. 帯同審判

(1) 参加地区チームは、2 級以上の公認フットサル審判員を 1 チームにつき 1 名帯同させること。その氏名・級を参加申込書に記入すること。

(2) 帯同審判員は、2 日目午前までその業務に当たるものとする。

(3) 帯同審判員は、役員(監督は除く)と兼ねることができる。

- (4) 審判員を帯同出来ない時には、不帯同審判料 16,200 円(消費税込)を主管地区サッカー協会に納入すること。
20. 監督会議 (1) 日 時 : 2016 年 7 月 9 日(土) 午前 8 時 10 分から  
(2) 会 場 : 北海道立野幌総合運動公園総合体育館研修室A
21. 開 会 式 (1) 日 時 : 2016 年 7 月 9 日(土) 監督会議終了後(9:00 頃予定)全選手参加  
(2) 会 場 : 北海道立野幌総合運動公園総合体育館メインアリーナ
22. 表 彰  
及び閉会式 (1) 優勝、準優勝、第 3 位には(公財)北海道サッカー協会から表彰状及びトロフィーを授与する。なお、優勝チームには(公財)北海道サッカー協会杯を授与して次回までこれを保持する。  
(2) 表彰式並びに閉会式は、決勝戦終了後に試合会場で行う。
23. 負 傷 及 び  
事故の責任 (1) 大会期間中の負傷及び事故の責任は、当該チームが負うものとする。なお、医師及び救急用具の準備は各チームの責任において行うこととする。  
(2) 選手はスポーツ保険または、それに準じた保険に加入していること。
24. そ の 他 (1) マッチコーディネーションミーティング  
① 1 次ラウンド : 監督会議時に併せて実施する。  
② 決勝ラウンド: 各試合競技開始時間の 40 分前(ただし、第 1 試合は試合開始 30 分前)に、MCM 室で行う。  
③ マッチコーディネーションミーティングは、運営スタッフ、両チームの監督及び審判員出席のもと以下について行う。ただし、準決勝及び決勝においては、(公財)日本サッカー協会認定マッチコミッショナーが加わり行うこととする。  
(ア) 電子選手証等のチェックのため持参(監督会議)すること。なお、決勝ラウンドでは、特に指示がない限り電子選手証等の提出は不要。  
(イ) FP 及び GK それぞれの正副 2 種類のユニフォーム(パワープレーを行うチームはパワープレー用ユニフォームも含む)、競技中に着用するビブス(メーカー は不問。対戦チームのユニフォーム色も考慮し、複数色のビブスの用意があるのが望ましい。)を各色 1 枚持参すること。両チームのユニフォーム等の色を決定する。  
(ウ) タイムスケジュール、出場停止選手、試合前セレモニーの進行内容、モラル、その他通達事項の遵守などについて確認を行なう。
- (2) メンバー提出用紙  
1 次ラウンドのメンバー提出用紙は、各試合 40 分前(ただし、第 1 試合は試合開始 30 分前)に自身が試合を行うピッチオフィシャル席にいる、ピッチ責任者へ提出すること。決勝ラウンドはマッチコーディネーションミーティング後提出すること。
- (3) 電子選手証  
各チームの登録選手は、(公財)日本サッカー協会発行のフットサル電子登録証の写し(写真が登録されたもの)または選手証(写真が貼付されたもの)を、監督会議及び試合会場に持参すること。いずれかが確認できない選手は、試合の出場を認めない場合がある。
- (4) 選手の資格に関して不都合な行為等があった場合、そのチームの出場を停止する。  
(5) 震災等、不測の事態が発生した場合には、本大会運営委員会において協議の上対処する。中断・中止・延期することがあることを留意のこと。  
(6) 競技時間中、ウォーミングアップ時間中を問わず、自分のベンチにおいて摂取可能な飲料は「水のみ」に限定する。  
(7) 優勝・準優勝チームには、2016 年 8 月 12 日(金)～8 月 14 日(日)に東京都/駒沢オリンピック公園体育館、大田区総合体育館で開催されるバーモントカップ第 26 回全日本少年フットサル大会の参加を義務づける。なお、参加チームには(公財)日本サッカー協会が定める基準により経費が支払われる。